



#### 一由生の力強い組体操

四 各学年、学級での指導

交流授業にみる生徒の感想  
—交流感想文集の中から—

ある日の放課後、先生から、私たち三年三組と、養護学校の生徒さん達との交流学習の話がでました。

去年から、養護学校の人たちとあって遊びやおしゃべり、そして勉強をしたいなあと思っていた私は、大変嬉しく思いました。

しかし、その日が近づいてくるとだんだん不安になりました。

そして当日……

養護学校生のみなさんとの一時間目は自己紹介などの学級会でした。

二時間目、本番の理科の時間です。理科は水酸化バリウムに硫酸を加えていくといったような、酸とアルカリの反応を電流の変化で調べる実験を行いました。四つぐらいの班に養護学校の生徒さん六人が、一人か二人ずつ入って実験を行いました。私たちの班にも、佐藤智恵子さんと矢吹俊郎くんに入ってもらいました。

初めて先生が作った実験結果を記入するプリントを、班長である私が配りました。矢吹くんは目が見えません。もちろん四角のままで字を書くこともできません。配るうか、配るまいかとまどいましたが、やはり私たちと同じようにするのが自然であると思って配りました。すると佐藤さんが、「書けないからいいです」と言つて、プリントを返してきました。ドキッとしました。私達はどうしたらいいのかわかりませんでした。私達はどこで先生に相談して私たちが書いて帰りに渡すということになりました。

それからは、一人ずつまわして硫酸を加えながら、溶液の反応とまめ電球のつき方を、正確にとはいえませんが結論を出せるまでのデータもとれて、楽しく実験をすることができました。そして正直いってこの授業は緊張の連続でした。けれどもこの授業を通して、私はなすことできませんでした。ドキッとしたこともありました。そして得たものはたくさんあり、また、教え